

『教会の神学』総目次

号数	表題	論文名	執筆者
第1号 (1991年) (復刊)	巻頭言		南 純
	始業講演	アドルフ・シュラッターと現代の神学	蓮見 和男
	研究発表	ヨハネ福音書における弟子の問題	山岡 健
	論文	キリストの歴史的身体の形成と説教のつとめの位置	小坂 宣雄
	論文	ブツァーと幼児洗礼の問題の一考察(上)	南 純
	論文	キリスト教礼拝の基礎	三瓶 長寿
	書評	Bible de tous les temps. 8 vols.. 1984-1989.	渡辺 信夫
	書評	J. H. Walton, Ancient Israelite Literature in its Cultural Context. 1989.	平出 亨
「教会の神学」編集委員発行	書評	A. Richardson, Creeds in the Making: A Short Introduction to the History of Christian Doctrine. 1990(15th impression).	桑原 昭
第2号 (1992年)	始業講演	教会史における時代区分の問題	南 純
	研究発表	伝承と解釈—H. M. カイテルトの「信仰の現実」をめぐる—	登家 勝也
	論文・講演	申命記における十戒の理解について	野木 虔一
	論文・講演	カルヴァンの旧約研究	渡辺 信夫
	論文・講演	カルヴァンの礼拝改革とジュネーヴ詩篇歌	後藤 憲正
	読書紹介	Karl Rieker, Grundsätze reformierter Kirchenverfassung. Leipzig. 1899. 208s.	菊地 信光
	書評	Leonard Boff, Trinity and Society. Burns and Oaters, Great Britain 1988.	小坂 宣雄
	書評	J. L. Stotts and J. D. Douglass, ed., To Confess the Faith Today. Westminster/John Knox Press, 1990.	高松 牧人
「教会の神学」編集委員発行	書評	Alexandre Ganoczy, The Young Calvin. T. & T. Clark, Edinburgh, 1988.	池永 倫明
「教会の神学」編集委員発行	書評	C. W. Burger, B. A. Müller and D. J. Smit, ed., Sermon Guides for Preaching in Easter Ascension and Pentecost. Eerdmans, Michigan, 1988.	上山 修平
第3号 (1994年)	始業講演	旧約における動物犠牲	平出 亨
	最終講義	神学教育の教理史	渡辺 信夫
	論文	「もろもろの霊力(ストイケイア)」(ガラテヤ書4章3, 9節)	大浦 勝
	論文	ジュネーヴ詩篇歌の成立と普及—その神学的讃美歌学的検討—	渡辺 信夫
	書評	ヨゼフ・シュライナー著/酒井 一郎・酒井 宗代訳、『十戒とイスラエルの民』、日本基督教団出版局、1992年	三好 明
	読書紹介	Wallace M. Alston Jr., The Church, John Knox Press, 1984.	南 純
	読書紹介	Paulos Mar Gregorios, The Meaning and Nature of Diakonia. WCC Publication, Geneva, 1988	後藤 憲正

「教会の神学」編集委員発行	読書紹介	Eduard Schweizer, Theologische Einleitung in das Neue Testament. Vandenhoeck & Ruprecht, Göttingen, 1989.	五十嵐喜和
第4号 (1997年) 1995年 神学研究会発足 1996年 神学校移転等あり	講演・論文	主イエスによる派遣—ルカ福音書の72人の派遣を巡って—	五十嵐 喜和
	講演・論文	テルトゥリアヌスの三位一体論—『プラクセアス反論』(Adversus Praxeas)において—	鈴木 攻平
	講演・論文	キリスト教信仰と現代自然科学との対話—その接点をめぐって—	池永 倫明
	講演・論文	『ブレーメン—致信条』に見る sacrament の諸問題	南 純
	特別講演	カルヴァン神学の救済論的理解と福音のつとめの重要性	韓 哲河/訳・申 英秀
	海外教会事情	韓国教会: 福音宣教のための神の選びの民	盧 鳳麟/訳・三好 明
第5号 (1998年)	講演・論文	「モーセのような預言者」	平出 亨
	講演・論文	新約聖書の教職論	川村 輝典
	講演・論文	和協信条書における教職論	住谷 眞
	講演・論文	礼拝の司式と教師の役目	後藤 憲正
	講演・論文	旧約時代の礼拝音楽について—バビロン捕囚を経験して	菊地 純子
	講演・論文	“知られていない信仰告白—ウエストミンスター”—その歴史的・批判的解釈に向けて—	松谷 好明
	講演・論文	教会会議はなぜ必要か	H. バーフィンク /訳・澤 正幸、金田 聖治
	書評・読書紹介	Rueben P. Job and N. Shawchuck., A Guide to Prayer for Ministers & Other Servants. The Upper Room, Nashville, 1983.	黒田 浩史
	書評・読書紹介	Shirley C. Guthrie Christian Doctrine (Revised Edition). Westminster/John Knox Press, Kentucky, 1994.	有賀文彦
書評・読書紹介	日本基督教改革派教会中央宣教研究所編、『今日の教会とカテキズム』、聖恵授産所出版部、1997年	松田真二	
第6号 (1999年)	講演・論文	旧約における祝福	野木 虔一
	講演・論文	ミカ書の終末論	三好 明
	講演・論文	アシジのフランシスコの自然観をめぐって—その背景と意義—	住谷 眞
	講演・論文	第一次宗教改革と宗教改革急進派—その教導的宗教改革との関係—	D. F. ダンバー /訳・後藤 憲正
	講演・論文	最近の日本のキリスト教会史研究—特に日本基督教会史を中心に—	五十嵐 喜和
	特別論文	朱基徹牧師の神社参拝反対と抵抗	李 象奎/訳・奇 貞叟, 小塩 海平
	書評	Bruce L. McCormack, Karl Barth's Critically Realistic Dialectical Theology. It's Genesis and Development 1909-1936. Clarendon Press, Oxford, 1995.	田村 宏之
第7号 (2000年)	特集日本キリスト教会創立50周年		
	巻頭言	日本キリスト教会創立50周年にあたって	小坂 宣雄
	特集論文	日本キリスト教会の教会観試論	南 純
	特集論文	宗教改革の教会規則からみた日本キリスト教会	澤 正幸

	特集論文	日本における「教会と国家」の課題	渡辺 信夫
	特集論文	植村正久の宣教論の一断面―「新嘗感謝礼拝」と「大嘗会(感謝)礼拝」をめぐって―	五十嵐 喜和
	特集論文	日本における改革長老教会の路線―日本基督教団における旧日本基督教会の流れ―	川村 輝典
	論文	θεόςの語源をめぐる言語学的一仮説	住谷 眞
第8号 (2001年)	論文	日本キリスト教会と信仰告白	南 純
	論文	日本基督教会の台湾伝道について	五十嵐 喜和
	論文	コリントの信徒への手紙 二 10: 1-13:10の談話分析―それはいわゆる中間書簡か―	住谷 眞
	論文	カルヴァンの反ニコデモ主義的神学	姜 炅林/訳・南 純
	論文	第二宗教改革の特別な貢献	C. リンドバーク /訳・後藤 憲正
	書評	The Orthodox Study Bible, New Testament and Psalms. Thomas Nelson Publishers, Nashville, 1993.	黒田 浩史
第9号 (2002年)	始業講演	古代教会における伝道	南 純
	論文	「信仰告白的教会」であること―日本キリスト教会史における「告白的事態」―	五十嵐 喜和
	論文	キリストの主権を告白する神学を目指して―福音主義的旧約釈義の視点から―	三好 明
	論文	改革派神学の伝統的特質	T. F. トランス /訳・小坂 宣雄
	書評	A. E. マクグラス著/神代 真砂実訳、『キリスト教神学入門』、教文館、2002年	有賀 文彦
	書評	佐々木哲夫、『旧約聖書と戦争―士師の戦いは聖戦か?―』、教文館、2000年	三好 明
	書評	J. B. Torrance, Worship, Community and The Triune God of Grace. InterVarsity Press, Illinois, 1996.	山田 義明
第10号 (2003年)	始業講演	聴き手における言語的事件としての説教	三瓶 長寿
	論文	ヨハネ黙示録1:15aの本文とその意味をめぐって	住谷 眞
	論文	教会暦に基づいた朗読聖書日課の意義について	後藤 憲正
	論文	1945年以後の改革派の信仰告白―隔たりの中の近さ―	E. ブッシュ /訳・持田 克己、 五十嵐 喜和
	論文	homousios に関するコメント	T. F. トランス /訳・小坂宣雄
	書評	W. ツインマリ著/樋口 進訳、『旧約聖書神学要綱』、教文館、2000年	三好 明
	書評	アリストアー E. マクグラス著/高柳 俊一訳、『宗教改革の思想』、教文館、2000年	南 純
第11号 (2004年)	始業講演	B. S. チャイルズの聖書学方法論	三好 明
	論文	ラザフォードのコンテキストと方法	金 山徳
	論文	ギリシア教父における「誘惑」(πειρασμός) の過程について	黒田 浩史

	論文	天皇制国家神道とキリスト教—その抵抗と挫折のプロセス—	久米 三千雄
	論文	教会暦に基づいた聖書朗読日課表(A, B, C年)	後藤 憲正
	論文	パウロ—宣教者・神学者—	O. ホフィウス ／訳・五十嵐 喜和
	論文	洗礼の神学とその執行の改革 —カール・バルトの挑戦—	D. ミグリオール ／訳・持田 克己
	書評	James H. Smylie, A Brief History of the Presbyterians. Geneva Press, Kentucky, 1996.	枝松博展
第12号 (2005年)	講演	カルヴァン・改革派神学研究所開所記念特別講演 カルヴァン研究—昨日・今日・そして明日—	渡辺 信夫
	論文	ラザフォードの契約神学	金 山徳
	論文	現代の信仰告白—南アフリカの場合—	菊地 信光
	書評	新改訳聖書刊行会編、『聖書翻訳を考える』—『新改訳聖書』第三版の出版に際して—、いのちのことば社、2004年	菊地 純子
	書評	川村輝典、『聖書註解 ヘブライ人への手紙』、一麦出版社、2004年	五十嵐 喜和
	書評	森井眞、『ジャン・カルヴァン—ある運命』、教文館、2005年	南 純
	書評	Alan J. Torrance, Persons in Communion. T & T Clark, Edinburgh, 1996	小坂 宣雄
第13号 (2006年)	講演	特別講演(カルヴァン・改革派神学研究所とヨハネス・ア・ラスコ図書館との協約締結特別講演) 東フリースランドが改革派プロテスタンティズムの形成に為した貢献	ワルター・シュルツ ／訳・菊地 純子
	最終講義	ポストモダン世界における教会の宣教への問い	三瓶 長寿
	論文	ヨハネ黙示録2:1-7におけるエペソの教会はヨハネ教団か—ヨハネ教団史の一位相	住谷 眞
	論文	ファン・ルーラーの聖霊論における鍵となるいくつかの概念について—キリスト論の教理と関連して	栗田 英昭
	研究ノート	H. A. オーバーマンのカルヴァン研究—人とその仕事—	菊地 信光
	書評	W. H. シュミット著／大住 雄一訳、『十戒 旧約倫理の枠組みの中で』、教文館、2005年	高松 牧人
	書評	Nobuo Watanabe, “Reformed Theology in East and West” in Toward the Future of Reformed Theology, Eerdmans, Grand Rapids, 1999	持田 克己
第14号 (2007年)	始業講演	パウロの活動年代記における第1回伝道旅行の位置とその意義をめぐって	住谷 眞
	最終講義	ヘブライ人への手紙における信仰について	川村 輝典
	論文	マタイ教団における主の晩餐	佐藤 泰將
	論文	偽フィローン『聖書古代誌』における指導者エフター39章1—1節を中心に—	井阪 民子
	論文	ファン・ルーラーの聖霊論におけるキリストとの神秘的合一 —カールヴァン、ルターおよびバルトの理解に関連して—	栗田 英昭
	論文	『神社参拝拒否事件記録 復刻版 美濃ミッション』によせて	五十嵐 喜和

	学会報告	第9回国際カルヴァン学会報告	南 純
	書評	R. E. クレメンツ編／木田 献一・月本 昭男監訳、『古代イスラエルの世界—社会学・人類学・政治学からの展望—』、リトン、2002年)	野木 虔一
	書評	Elmer M. Colyer, How to Read T. F. Torrance: Understanding His Trinitarian & Scientific Theology, InterVarsity Press, Illinois, 2001	真田 泉
第15号 (2008年)	特別講義	礼拝で歌うことの伝統—古くからあるコラール—ジュネーヴ詩編歌—新作讃美歌—	エッツァルト・ヘアリン
	論文	ヨハネ教団史の最終相—ヨハネ21:9-14を中心に—	住谷 眞
	論文	十分に展開された聖霊論の必要性について—ファン・ルーラーによる相対的に独立した聖霊論の意義—	栗田 英昭
	論文	今日における日曜学校の使命	朴 寿吉
	書評	Bruce K. Waltke, A Commentary on Micah, Eerdmans, Grand Rapids, 2007	三好 明
	書評	H. M. Kuitert, De spelers en het spel, Uitgeverij Ten Have B. V., Baarn, 1981	後藤 憲正
	書評	Colin E. Gunton, The Actuality of Atonement, A Study of Metaphor, Rationality and the Christian Tradition, T & T Clark, Edinburgh, 1988	真田 泉
第16号 (2009年)	始業講演	殉教と殉国—欧米の歴史における戦死者の追悼—	芳賀 繁浩
	最終講義	新共同訳聖書と神の義について	南 純
	論文	ローマ9:5bの釈義をめぐって	住谷 眞
	論文	神と人の関係—ファン・ルーラーの聖霊論における神律的相互関係—	栗田 英昭
	研究ノート	ヘボン・ブラウン訳「新約聖書約翰傳」(文語)の特色—とくにプロローグの「言霊」(ロゴス)の意義について—	久米 三千雄
	書評	Herman Bavink, Reformed Dogmatics, vol. 2: God and Creation, Baker Academic, Grand Rapids, 2004	山田 義明
	書評	Richard A. Muller, The Unaccommodated Calvin: Studies in the Foundation of a Theological Tradition, Oxford University Press, Oxford, New York, 2000	金 山徳
	書評	Theodore W. Jennings, Jr., Reading Derrida/Thinking Paul: On Justice, Stanford University Press, Stanford, California, 2006	池永 倫明
第17号 (2010年)	始業講演	宣教する神の教会—「福音宣教と教会形成」をめぐって—	藤井 和弘
	特別講義	今日の我々にとってのカルヴァン神学の意味—カルヴァンと旧約聖書—	ベルトルート・クラッパート／訳・武田 武長
	特別講義	今日における改革教会の礼拝の諸相	リンダジョー・H. マツキム／訳・真田泉
	最終講義	改革派教会の契約神学のアウトライン	池永 倫明
	論文	ヤコブの手紙4: 5b-6aの謎をめぐって	住谷 眞
	論文	カルヴァンとは、昔と今—その今日的解釈—	エーバハルト・ブッシュ／訳・小池 創造

	書評	Jack B. Rogers & Donald K. McKim, The Authority and Interpretation of the Bible: A Historical Approach, Harper & Row, (San Francisco, 1979)	冨永 憲司
	書評	Arie R. Brouwer, Reformed Church Roots: Thirty-Five Formative Events, Reformed Church Press, New York, 1977	枝松 博展
第18号 (2011年)	始業講演	第6日の人間創造をめぐって―特に、「神のかたち」の意味と役割について―	高松 牧人
	最終講義	神の国の福音について―共観福音書と高倉徳太郎において―	五十嵐 喜和
	講演録	旧約聖書から何を語るか―植村正久の旧約聖書説教をとおして考える―	三好 明
	論文	第二ペテロにおける使徒的「われわれ」	住谷 眞
	論文	聖霊の内住―人間の霊および世界において―	栗田 英昭
	書評	ブロックマン著／小松 加世子 訳、『インサイド・ストーリー』、玉川大学出版部、1998年	阿部 祐之
	書評	野口裕二、『物語としてのケア―ナラティブ・アプローチの世界へ』、医学書院、2002年	阿部 祐之
	書評	James K. A. Smith, Desiring the Kingdom: Worship, Worldview and Cultural Formation, Baker Academic, Grand Rapids, 2009	真田 泉
第19号 (2012年)	始業講演	聖霊と信仰告白―『堅信』の歴史の変遷とその根拠をめぐって―	佐藤 泰将
	特別講演	第二神殿期ユダヤ教における「異邦人宣教」と新約聖書解釈	浅野 淳博
	論文	姦淫の女性のペリコーペ再考	住谷 眞
	論文	ファン・ルーラーの聖霊論と場所論的理解	栗田 英昭
	論文	独立教会の形成について―ヴェンとアンダーソンの宣教論―	三好 明
	研究ノート	ネイサン・ブラウン訳、「新約聖書」の独自性とその展開 ―ルカ2:49とマルコ11:23から―	久米 三千雄
	研究ノート	カルヴァンの礼拝理解における礼拝と倫理の関係について	真田 泉
	書評	トーマス・C・レーマー著／山我 哲雄訳、『申命記史書―旧約聖書の歴史書の成立』、日本キリスト教団出版局、2008年	石束 岳士
	書評	Joseph D. Small(ed.), Conversations with the Confessions :Dialogue in the Reformed Tradition, Geneva Press, Louisville, 2005	山口 俊夫
	書評	Peter N. Vandenberg, Historical Directory of the Re formed Church in America, 1628~1978, Eerdmans, Grand Rapids, 1978	五十嵐 喜和
第20号 (2013年)	始業講演	ハイデルベルク教理問答におけるキリストとの結合の教理―福音の説教と聖礼典によって―	松田 真二
	最終講義	『捕囚』の歴史を生きる民―その意味と今日的課題―	野木 虔一
	特別講義	宗教改革期スコットランドにおけるプレスビテリーの役割―教育的パースペクティブからの考察―	原田 浩司
	特別講義	最上の宣教としての礼拝！―日本の文脈における改革派伝統の発展的継承を願って―	市川 康則
	論文	マタイ27:19におけるポンティオ・ピラトの妻をめぐって―新聖書翻訳への一提案―	住谷 眞
	論文	「建てる」のは「徳」か「教会」か―οἰκοδομηνの訳語を追って―	吉平 敏行

	論文	一つの出会い―ブーツァーとカルヴァン―	南 純
	論文	ファン・ルーラーの聖霊論の説教および信仰への適用	栗田 英昭
	論文	祈り、礼拝、三位一体の神	後藤 憲正
	書評	荒井 献、大貫 隆、小林 稔、筒井 賢治訳 『ナグ・ハマディ文書』全4巻、岩波書店、1997-1998年	住谷 翠
	書評	トーマス・F. トーランス著／芳賀 力、岩本 龍彦共訳、『キリストの仲保』、キリスト新聞社、2011年	枝松 博展
	書評	Eberhard Busch, Der Freiheit zugetan: Christlicher Glaube heute—im Gespräch mit Heidelberger Katechismus. Neukirchener, 1998	五十嵐 喜和
	書評	ウォッチマン・ニー著、「正常なキリスト者の召会生活」『ウォッチマン・ニー全集』第30巻、日本福音書房、1997年)	井上 豊
第21号 (2014年)	聖書・教理の公開講座	旧約聖書「律法」	高松牧人
	聖書・教理の公開講座	教理「聖書論」	松田真二
	カルヴァン・改革派神学研究所 講演	カルヴァン派の初期カテキズムの形態	渡辺信夫
	論文	Loveの明治元訳「愛(いつくしみ)」と「仁愛」をめぐる―「愛」を「愛(いつく)しみ」と訳す可能性	吉平敏行
	論文	聖霊論的思考について―ファン・ルーラーと小野寺功―	栗田英昭
第22号 (2015年)	始業講演	嘆きの詩編と礼拝の課題	真田 泉
	聖書・教理の公開講座	新約聖書「福音書」	住谷 眞
	聖書・教理の公開講座	教理「神論―三位一体論」	松田真二
	カルヴァン・改革派神学研究所 講演	カルヴァンの『詩篇註解』における敬虔の修練について	南 純
	論文	ダビデを記念して(一) サムエル記下23章1節における王の称号を釈義する	大石周平
第23号 (2016年)	始業講演	なぜ神は怒られるのか―これまでの研究と新たな研究の試み	三好 明
	聖書・教理の公開講座	旧約聖書「歴史書」	三好 明
	聖書・教理の公開講座	教理「キリスト論」	芳賀 繁浩
	論文	ダビデを記念して(二) サムエル記下23章2～4節における預言者と知恵の表象	大石周平
	研究ノート	信徒説教者等の可能性について	真田 泉
第24号 (2017年)	始業講演	ヨハネ教団における諸危機とその克服をめぐる	住谷 眞
	聖書・教理の公開講座	新約聖書「パウロ書簡」	佐藤泰将
	聖書・教理の公開講座	教理「創造論---父なる神について」	松田真二
	特別講義	日本の宗教事情と教会の課題	宮庄哲夫
	論文	日本キリスト教史における「殉教」という語の成立と受容	三輪地塩
第25号 (2018年)	始業講演	救いとは何か--義認と聖化をめぐる--	有賀文彦
	聖書・教理の公開講座	旧約聖書「諸書」	三好 明

	聖書・教理の公開講座	教理「聖霊論」	有賀文彦
	論文	ダビデを記念して(三)--サムエル記下23章5節の連語句 עולת ברית (常しえの契約)--	大石周平
	論文	まことの信仰とは何か	栗田英昭
	論文	カルヴァンの『ローマ人への手紙註解』献呈辞とCONSENSUS PIORUM	ニコル・クロプカ、大石周平
第26号 (2019年)	始業講演	キリストとの結合の教理と敬虔	松田真二
	聖書・教理の公開講座	旧約聖書「預言書」	高松牧人
	聖書・教理の公開講座	教理「教会論」	冨永憲司
	論文	信徒説教論についての試論的研究	崔 炳一
第27号 (2020年)	聖書・教理の公開講座	聖書「ヘブライ書、共同書簡と黙示録」	住谷 眞
	聖書・教理の公開講座	教理「終末論」	澤 正幸
	論文	日本基督教会における「樺太伝道」について	五十嵐喜和
	書評	『NTJ 新約聖書注解 ガラテヤ書簡』	山本 盾
第28号 (2021年)	始業講演	「トウルナイゼンの『牧会学』に関する一考察」--死なんとする者と悲しむ者への慰め--	藤田英夫
	論文	改革教会の伝統における教会法の解釈と適用--その道筋と方法--	眞田 泉
	論文	ファン・ルーラーの神学における二元性と三位一体	栗田英昭
	研究ノート	大会の代議制に関する一考察	久野真一郎
	書評	Walter Brueggemann, Virus as a Summons to Faith: Biblical Reflections in a Time of Loss, Grief, and Uncertainty (Wipf and Stock Publishers, 2020).	三好 明
第29号 (2022年)	始業講演	エデンの園における生と死	高松牧人
	論文	『日本聯合基督教会憲法規則』を巡って-日本基督一致教会・日本組合基督教会「合同問題」研究-	三輪地塩
	論文	植村正久における信仰と霊性と「志」	栗田英昭
	論文	日本キリスト教会の教会論	松田真二
	論文	改革派「二王国説」の現代的意義を考える	澤正幸
	連載	「日本キリスト教会大信仰問答」註解 第1回	信仰と制度に関する委員会 渡辺信夫、澤正幸、 後藤憲正